

森づくり最前線

山梨森林管理事務所 南部森林事務所 森林官 田口 哲也



長者ヶ岳から富士山を望む

私の勤務する南部森林事務所は、山梨県の南西部に位置する南部町に所在し、南部町の国有林2,039畝・官行造林地184畝、身延町の国有林306畝、早川町の官行造林地147畝を管理しています。

南部町内の国有林は静岡県境に位置し、東海自然遊歩道が通っています。ルート上には山梨百名山の長者ヶ岳（標高1,336畝）があり、山頂からは富士山を望むことができます。天候に恵まれれば、4月と8月の数日間はダイヤモンド富士（朝方、富士山頂より太陽が昇る現象）を見ることができ、気候の良いシーズンにはハイキングを楽しむ観光客が訪れます。



ダイヤモンド富士

近年、当事務所管内では、植栽木へのクマによる剥皮やシカの食害による獣害が後を絶ちません。特にクマの剥皮は成長期にある30～40年生、さらに伐期齢を迎えた林分までもが被害を受けています。被害の大部分が比較的大きな優良木であり、分収育林箇所も例外ではありませんでした。

分収育林箇所については、平成20年度から被害の拡大を防ぐため、剥皮被害防止用テープを巻くなどの対策を実施し、22年度には全箇所完了することができました。また、被害状況を把握するための調査を実施しており、被害の傾向を分析して効果的な対策に繋げていくこととしています。

平成21年12月に策定された「森林・林業再生プラン」では、森林の整備や木材生産の効率化を図るため、低コストで壊れにくい森林作業道の整備などを進めていくこととしています。

山梨森林管理事務所では、昨年12月に当事務所管内において、山梨県、町、林業事業体等が参加の下、森林作業道作設の現地検討会を行い、急傾斜地でのルート選定やバックホウによる森林作業道の作設方法などについて学びました。

低コストで壊れにくい森林作業道の整備を積極的に進めていくためには、地形や地質を考慮して無理な搬出方法とならないよう配慮することが重要であることを再認識することができました。

最後になりましたが、諸先輩方から受け継いだ国有林の森林資源をより充実して100年、200年後ま引き継いでいけるよう、獣害対策や効率的な森林作業道の活用を含めた適切な森林整備に日々取り組んでいきたいと思っております。



剥皮被害防止用テープ巻き



森林作業道作設の現地検討会